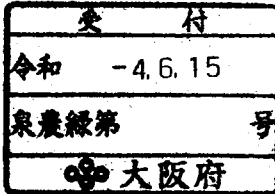


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 15日/

大阪府知事 殿  
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)



提出者  
住所 大阪府泉佐野市住吉町1番地  
氏名 不二製油株式会社  
代表取締役社長 大森 達司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 072-463-1511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	不二製油株式会社 阪南事業所
事業場の所在地	大阪府泉佐野市住吉町1番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09:食料品製造業
②事業の規模	グループ本社の連結売上高:4,338億円
③従業員数	1,030人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付資料(工程フロー)のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	排出量	2.53 t	28.4 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水機の補修、ろ布交換を行い、汚泥の脱水効率向上を図る。脱水機の更新を検討する。(有機性汚泥(スカム))</li> <li>・LOT切れ間近製品の再加工を強化する(有機性汚泥)</li> <li>・ピット汚泥回収の際に水分を少なくする(有機性汚泥)</li> <li>・賞味期限切れ前の販売部への早期販売促進と管理徹底(動物性残さ)</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	排出量	2.53 t	27.95 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水機の更新を行い、更なる削減を図る(有機性汚泥(スカム))</li> <li>・LOT切れ間近製品の再加工推進を継続する(有機性汚泥)</li> <li>・ピット汚泥回収の際に水分減少の取組を継続する(有機性汚泥)</li> <li>・賞味期限切れ前の販売部への早期販売促進と管理徹底(動物性残さ)</li> <li>・おからの有価での買い取ってもらう(動植物性残さ) ✓</li> <li>・生産・販売のバランスを注視して廃棄削減に繋げる(動植物性残さ)</li> </ul>		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各産業廃棄物はそれぞれに分別、保管をしている。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

(第2面)

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし
-----	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度(2021年度)実績】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
668.08 t	2721.35 t	1457.751 t	3324.14 t
【目標】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
664.26 t	2647.216 t	1272.74 t	3324.14 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
⑦有機性汚泥（スラム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
12242 t	0.298 t	0.3 t	30.694 t
【目標】			
⑦有機性汚泥（スラム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
12242 t	0.298 t	0.3 t	29.075 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度(2021年度)実績】			
①廃溶剤	②木くず	③有機性汚泥(活性スラリー)	—
5.05 t	2.23 t	37753 t	— t
【目標】			
①廃溶剤	②木くず	有機性汚泥(活性スラリー)	—
5.05 t	2.23 t	37753 t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・再資源化（動植物系廃油）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・脱水機の補修、ろ布交換を行い、汚泥の脱水効率向上を図る（有機性汚泥（スカム））		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・脱水機の更新を行い、更なる削減を図る（有機性汚泥（スカム））		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
【目標】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t



## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	14.504 t
【目標】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	14.504 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	- t
8927.11 t	- t	- t	- t
【目標】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	- t
9142 t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
①廃溶剤	②木くず	③有機性汚泥（活性スラリー）	—
— t	— t	367 t	— t
【目標】			
①廃溶剤	②木くず	有機性汚泥（活性スラリー）	—
— t	— t	367 t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
①廃溶剤	②木くず	③有機性汚泥（活性スラリー）	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	37386 t	— t
【目標】			
①廃溶剤	②木くず	有機性汚泥（活性スラリー）	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	37386 t	— t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	全処理委託量	2.53 t	28.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.53 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	28.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	2.53 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・委託処理業者を定期的に訪問し、処理状況等を確認。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
【目標】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
668.08 t	2721.35 t	1457.751 t	3324.14 t
623.51 t	642.86 t	586.63 t	320.92 t
654.51 t	2302.79 t	1348.351 t	3324.14 t
0 t	3.02 t	109.4 t	0 t
- t	- t	- t	- t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2021年度）実績】			
⑦有機性汚泥（スカム）	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
3314.89 t	0.298 t	0.3 t	16.19 t
184.78 t	0.298 t	0.3 t	16.19 t
3314.89 t	0.298 t	0.3 t	0 t
0 t	0 t	0 t	16.19 t
- t	- t	- t	- t

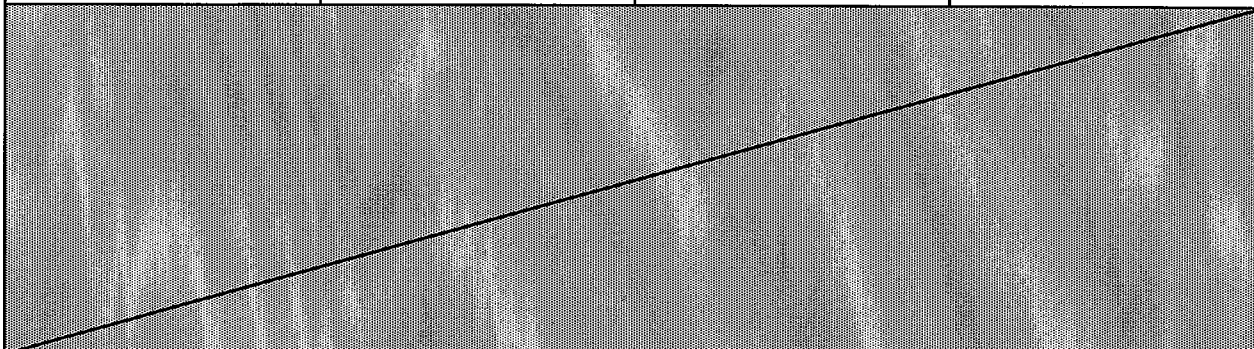
## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度（2021年度）実績】				
①廃溶剤	②木くず	③有機性汚泥（活性スラリー）	—	
— t	— t	— t	— t	
【目標】				
①廃溶剤	②木くず	有機性汚泥（活性スラリー）	—	
— t	— t	— t	— t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
【前年度（2021年度）実績】				
①廃溶剤	②木くず	③有機性汚泥（活性スラリー）	—	
5.05 t	2.23 t	— t	— t	
5.05 t	2.23 t	— t	— t	
0 t	0 t	0 t	— t	
5.05 t	2.23 t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ガラスくず等	②金属くず
	全処理委託量	2.53 t	27.95 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.53 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	27.95 t
	認定熱回収業者への処理委託量	2.53 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に対して、引続き定期的に現地確認を行い、施設・設備、処理状況等を確認する。			
※事務処理欄			

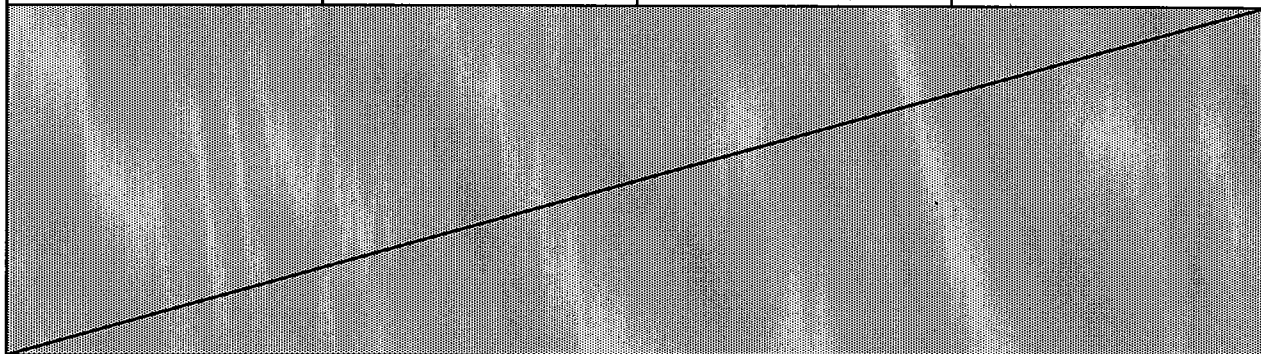
(第5面)

【目標】			
③廃プラスチック類	④動植物性残さ	⑤有機性汚泥	⑥無機性汚泥
664.26 t	2647.216 t	1272.74 t	3324.14 t
623.51 t	642.86 t	586.63 t	320.92 t
650.69 t	2228.656 t	1163.34 t	3324.14 t
0 t	3.02 t	109.4 t	0 t
- t	- t	- t	- t



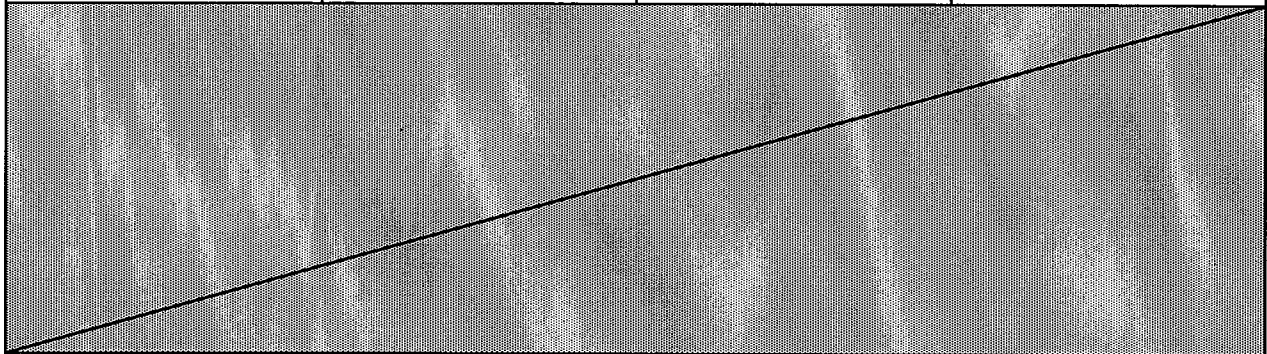


【目標】			
⑦有機性汚泥(スラム)	⑧廃電池類	⑨廃油	⑩動植物系廃油
3100 t	0.298 t	0.3 t	14.571 t
184.78 t	0.298 t	0.3 t	14.571 t
3100 t	0.298 t	0.3 t	0 <del>1.77636E-15</del> t
0 t	0 t	0 t	14.571 t
- t	- t	- t	- t



(第5面)

【目標】			
⑪廃溶剤	⑫木くず	有機性汚泥(活性スラリー)	—
5.05 t	2.23 t	— t	— t
5.05 t	2.23 t	— t	— t
0 t	0 t	0 t	— t
5.05 t	2.23 t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



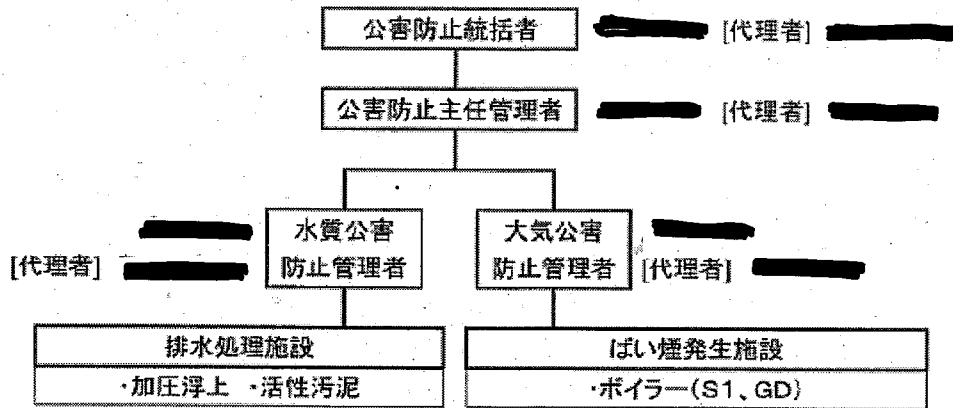


# 阪南事業所 公害防止/廃棄物管理組織

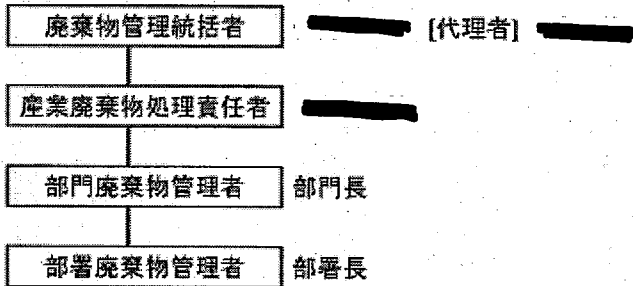
下記管理者を選任して組織を定め管理する。

## 公害防止管理組織

2022年4月1日



## 廃棄物管理組織



産業廃棄物管理責任者 : [Redacted]  
特別管理産業廃棄物管理責任者: [Redacted]

産業廃棄物の排出抑制及び減量化に関する資料  
処理工程フローシート

